

笑顔にあふれ 瞳輝く本城小！！

〇2年生：「プールで『ヤゴ』とり」をしました。



6月1日(木)、2年生はプール清掃前のこの日に、恒例(?)の「ヤゴ」とりをしました。プール底を見て、必死に小さなヤゴを発見していました。見つけるたびに全員で大歓声となり、楽しい授業となりました。その後は、教室で観察が始まり、ヤゴのスケッチに悪戦苦闘していました。無事、トンボになりますように！

〇令和5年度 歯・口の健康に関する図画・ポスター展に出品します。

今年度の歯・口の健康に関する図画・ポスター展に出品する児童を紹介します。力作ぞろいとなりましたので、ぜひ、入賞すると嬉しいですね。全校児童が描きましたが、どの児童もよく頑張っていました。

◇1年1組：	さん	さん
◇2年1組：	さん	さん
◇3年1組：	さん	さん
◇4年1組：	さん	さん
◇5年1組：	さん	さん
◇6年1組：	さん	さん



〇学級紹介！ ～今回は学級担任に2年1組を紹介してもらいます！～

**学級
だより**

2年1組は、

○元気で明るく頑張るクラス

2年生になり、2ヵ月が過ぎ、2年生の学習や運動、掃除などを明るく頑張っているクラスです。

○1年生に「素敵にまねしたい！」と思ってもらえるように、昨年度よりちょっとお兄さん、お姉さんとして、これからの生活も元気よく過ごしてくれると思います。

〇「ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト」のお知らせ



県では、子どもたちがスポーツへの夢やあこがれを抱くことができるようにするため、プロ野球選手の卓越したパフォーマンスに触れられる千葉ロッテマリーンズの公式戦へ招待(無料：40,000名)する企画を行っています。申し込む際は、右のQRコードよりお願いします。



○不審者侵入を想定した避難訓練を実施しました。



6月7日(水)には、銚子警察署の方を不審者役及び講師としてお招きし、不審者対応の避難訓練を実施しました。不審者の大声に異常を察知した担任及び子どもたちは、適度の緊張感をもって、しっかりと無事に避難することができました。今日の避難場所は体育館でした。その後、警察の方から不審者に遭遇した場合の避難について、講話をいただきました。たいへん立派にできたと思います。



5つのお約束! 安心して登下校

「いかのおすし」

○6月全校集会から(校長講話)



5月は、素晴らしい運動会をありがとうございました。みなさんの笑顔がとてもよかったですと思います。

さて、6月に入り、校長先生の願いは、勉強の6月にしてほしいということです。勉強の6月が過ぎれば、あっという間に夏休みになりますので、みなさん、6月を元気に頑張っていきましょう。

それでは、今日も一つお話をします。

みなさんの中には、いろいろなことで悩んでいる人もいます。例えば、仲のよい友だちがなかなかできないとか、サッカーを頑張っているのにレギュラーになれないとか、ピアノの先生がとても厳しいので練習に行くのに気が重くなるとか、です。

その他にも、友だちにちょっと嫌なことを言われたとか、先生に叱られたとかもあるかもしれません。

そのような悩みがあると、何かをしてもふとそのことが気になってしまい、今やっていることに集中できなかつたり、思い切って挑戦してみたりすることができなくなることがあります。

ですから、悩みや苦勞があっても、それをあまり重く考えないで、早く気分を切り替えるということも時には大切になってきます。もちろん、悩みや苦勞がそれで消えることはありませんから、重く考えないといっても難しいかもしれません。

でも、少し考え方を考えてみるだけで、今やっていることに集中できたり、新しいことに挑戦できたりするとしたら、そういうことを試してみてもよいかもしれません。みなさんが社会に出てからも、悩みや苦勞にとらわれすぎないというのは大事なことです。

これは、自分の苦勞を上手に乗り越えている人のお話です。

Aさんが電車に乗って座っていると、ある駅で片足のない男性が乗ってきたそうです。片足がないのにその人があんまり楽しそうなので、どうしてそんなに楽しそうな笑顔ができるのかAさんに尋ねたそうです。するとその人は、『世の中には目が見えなくて外に出られない人もいれば、寝たきりで部屋から出られない人もいるのに、自分は片足がないだけで、希望の明日がある。』と答えてくれたそうです。

片足がないと、生活するのにいろいろな苦勞があって大変でしょうから、「片足がないだけ」という答えは意外ではないでしょうか。

私たちは、自分の悩みや苦勞をすごく大きなものと感じてしまうことがありますね。

友だちにちょっと嫌なことを言われると、それがものすごく重大な感じのように感じます。

先生に注意されると、自分だけすごく注意されて先生に悪く思われたように感じます。

でも、それを自分がわからなかったことを教えてもらったと考えてみてはどうでしょうか。

自分だけが大変、自分だけがつらい、自分だけ、自分だけ・・・と考えていてもよいことは一つもありません。

大事なのは自分だけが大変だと思うのではなくて、早く気持ちを切り替えることです。その方がずっと得をします。何か嫌なことがあったら、この話を思い出してみてくださいね。